



# モエワ★カムイ 77

NO.

●モエワ・カムイはアイヌ語で「オオカミ」のことです。

JUN 2010

あさひやまどうぶつえんニュース  
ASAHIYAMA ZOO NEWS

目次

ぼくは、動物大使

その38 5本の手を器用に使う

ジェフロイクモザル……………2.3

特集

4月のあさひやまは大いそがし

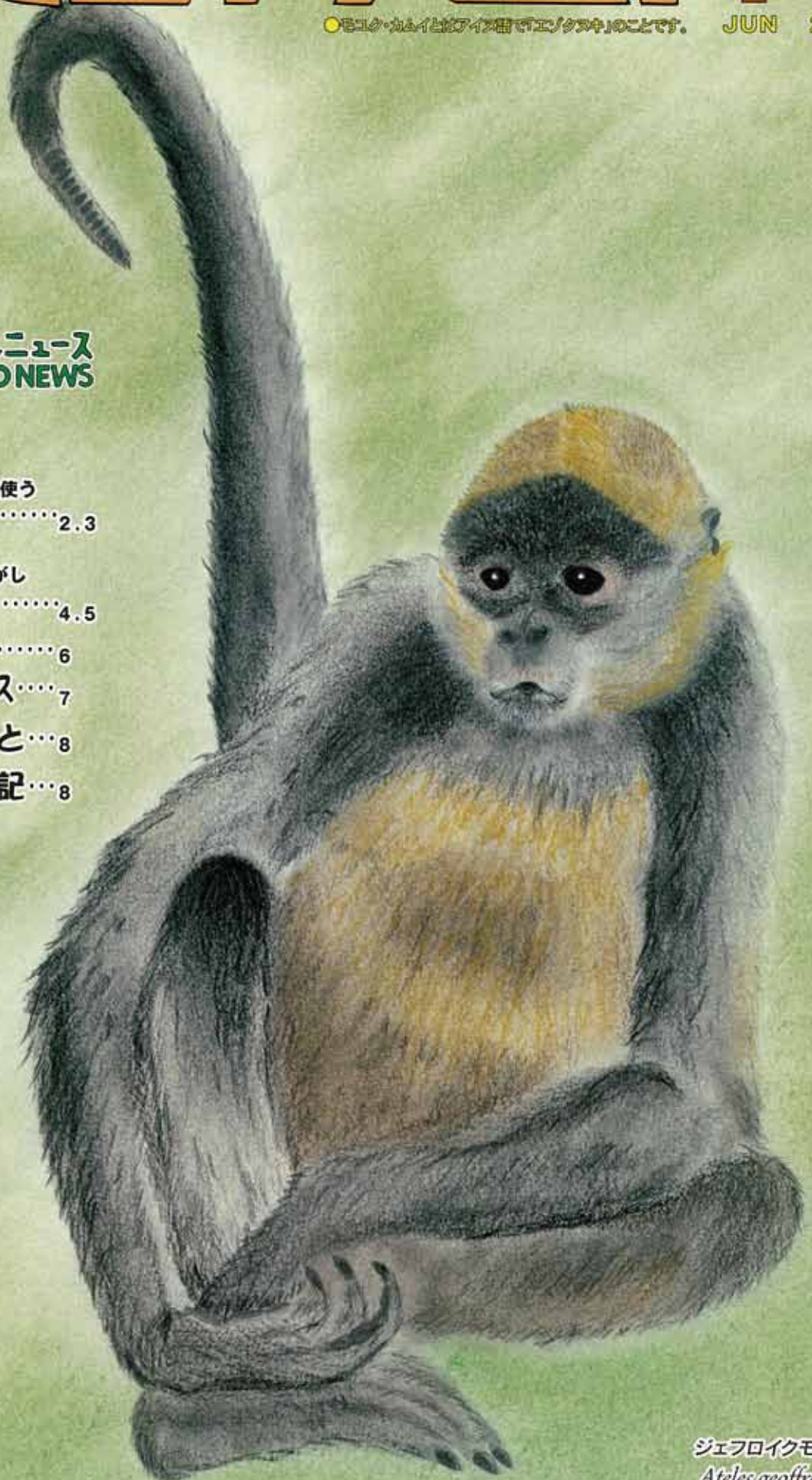
開園準備……………4.5

あさひやま解体新書……………6

動物病院VETニュース……………7

主なできごと……………8

編集後記……………8



ジェフロイクモザル  
*Ateles geoffroyi*





# ぼくは、動物大使



## その38 5本の手を器用に使う ジェフロイクモザル

### ジェフロイクモザル

*Ateles geoffroyi*

メキシコ南部および中央アメリカの熱帯雨林に生息。アメリカ大陸に棲むサルは「広鼻猿類(こうびえんるい)」と呼ばれ、アジアやアフリカに棲む「狭鼻猿類(きょうびえんるい)」とは別の進化をたどってきた、とされる。あさひやまにいたる8種のサルのうち、ジェフロイクモザルは唯一の広鼻猿類だ。

主食は果実や木の実。寿命は飼育下で約50年。

### ジェフロイクモザルの分布



### 尾

尾の先の内側には毛がなく尾紋がある。手足のように物をつかんだり巻きつけることができ、第5の手足と呼ばれる。尾で体全体のバランスをとる。



### 足

足の指は5本。親指が横についており人の手のように物をつかむことができる(対向掲指)。



### 群れ

雄1頭と複数の雌と子供、合わせて5~6頭の群れで生活。その群れが集まって時には100頭くらいの群れになる場合もある。

### あさひやまのクモザルたち



ジュン(♀)1980年生まれ(推定)



チャコ(♀)2000年1月11日生まれ



フミ(♀)2003年7月5日生まれ



ハーブ(♂)2004年12月21日生まれ

### 5本の手で自由自在に動き回る!

長い手足と同様に、長い尾も使って高い木の上を移動します。下から見上げるとまるで8本足の蜘蛛(クモ)のように見えることからクモザルと名前がつけました。英名もSpider Monkeyです。

移動しているときは、基本的に尾は安全带(命綱)として使っています。ときどき尾だけでぶら下がることありますがその姿は圧巻です。



### 体

- 身長 34~52cm
- 尾長 59~84cm
- 体重 約7.5kg

### 手

親指が退化しており、手の指は4本しかない。4本の指をかぎ状にして木にぶら下がる。



### ~くもざる・かびばら館のここに注目!~

くもざる・かびばら館はその名の通りクモザルとカピバラが共存しています。

展示手法の1つである「共生展示」です。生息地が同じ動物ですが、一方は樹上で生活し、一方は地上の水辺で生活するというそれぞれ同じ空間できちんと住み分けをしている動物たちです。彼らを見習って私たちヒト(人間)も野生動物ときちんと共生していかなければいけませんね!





# 4月のあさひやまは大いそがし

## 開園準備



開園準備って楽しいなあ!

旭山動物園は毎年4月に一カ月近い閉園期間に入ります。でもこの時期こそ、園内は大忙しなのです!

獣舎への砂入れや手作りで展示場改善など、開園中はなかなかできない作業を、休日返上で深夜までおこなっています。そして努力の成果を夏季開園でお披露目!というわけです。

今回ご紹介しているのは、すべて飼育係の手作業です。担当者の熱意にあふれた、開園準備の様子をご紹介します!

### 5 小動物舎



手づくり看板がたくさん!めくってみよう!  
ヤマアラシの針にさわることもできます。

### 3 ペンギン館・あざらし館



毎年恒例、プール掃除。

### 9 さる山



給餌器「ガチャガチャラン」。新型は塗装されてます。

### 13 こども牧場



ヤギのアスレチックもパワーアップしました!

### 15 くもざる・かひばら館



新・給餌器くもざるキューブが設置されました。

### 16 トラ・トラック



新車トラックをトラ柄に塗装!こんなことも飼育係が。

### 2 ととりの村



池そうじ中。コンパネ部隊、出動!  
ととりの鳥 漢字クイズ。読めるかな?

### 1 フラミンゴ



等身大フラミンゴ全種看板。華やかです!

### 6 もうじゅう館



ライオンやヒグマのためにチップ入れ。「もっこ」を使います。

### 7 オオカミの森



オオカミ骨格標本。ほねほねパネルクイズもあるよ!

### 8 エゾシカの森



みんなで雪割り中。春よはやく来い!

### 10 新・もうきん舎

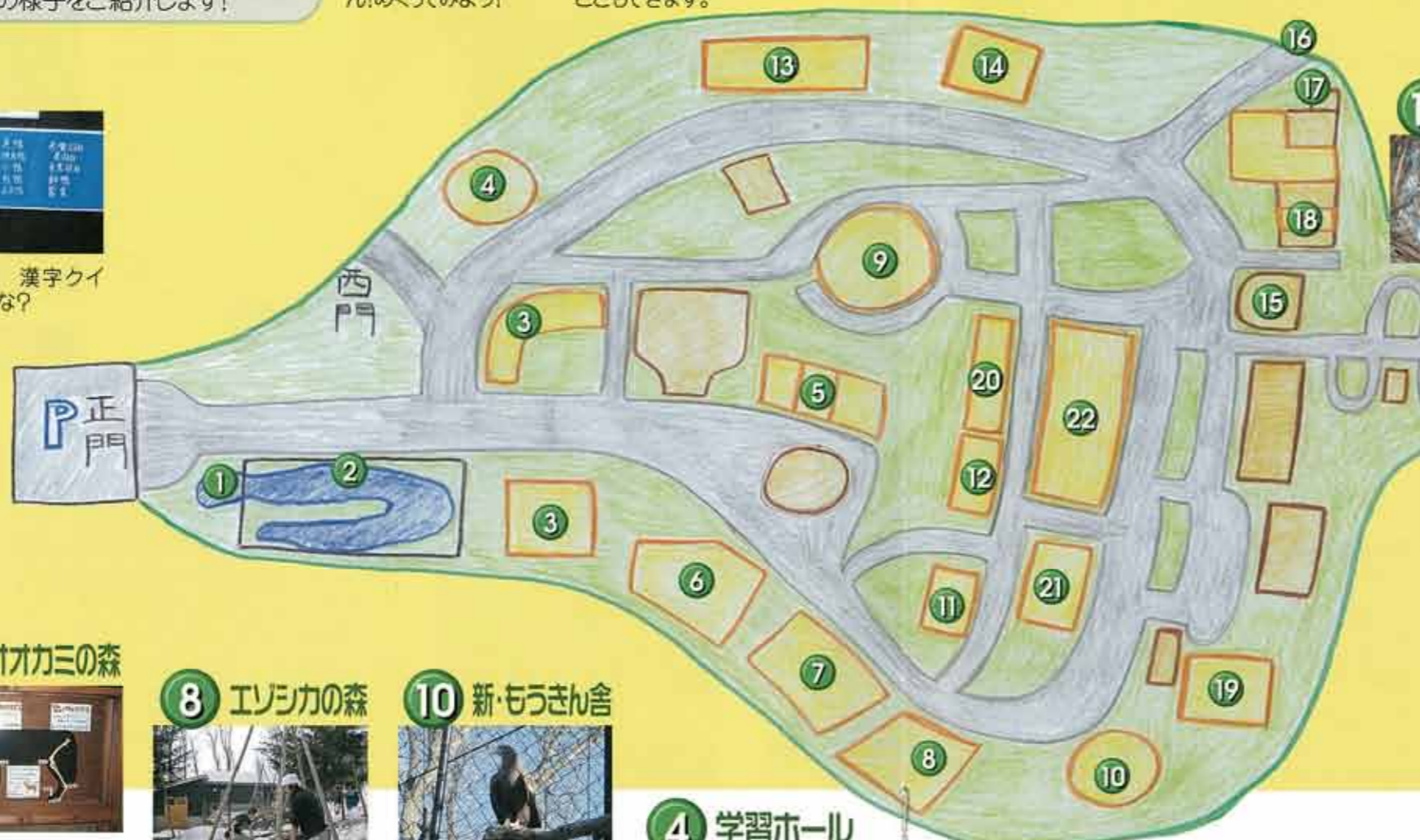


オジロワシの止まり木も担当者が設置。

### 4 学習ホール



地球温暖化展、今年も開催中。もちろん手作り展示です!



### 14 どうぶつ図書館



職員も増え、きれいにリニューアルされてます!

### 18 ペリカン



雨除けの小屋を設置。気に入ってくれるかな?

### 22 ちんぱんじーの森



新兵器登場!ピーナッツをうまく取り出せるかな?

### 17 カラス舎



カラス舎前に古巣を展示。カラスの卵みたことある?

### 20 北海道産動物



小鳥が集うせせらぎ庭園、完成!



修行僧たち(?)の手づくりです。

### 19 おらんうーたん舎



手づくりハンモック。ジャックたちもご満悦。



他にもたくさんのアイテムが。もくもくタイムをうご期待!

### 11 は虫舎



両生類ゾーン。苔を愛する担当者、こだわりのレイアウト。

### 12 フクロウ舎



丸太の巣穴はオオコハスクもお気に入り!

### 21 クジャク舎



冬はバックヤードにいたクジャクたちも、展示場へお引っ越し。

## '10年夏、あさひやまにお越しください!

### —ブームのあとに残るものとは?—

今年の開園準備は、飼育係みんなの熱意がすごかった!例年になく深夜までの居残り作業で「担当動物愛」にあふれるものでした。最近のあさひやまは、どうしても新施設に注目が集まります。でも元々あさひやまは「ワンポイントガイド」「手描き看板」そして「手作りの展示場改善」など、現場の職員一人ひとりの熱意によって支えられてきたのです。

あさひやま人気はまだ健在ですが、ブームとはお祭りのようなもの。賑やかにやって来て、やがて通り過ぎてゆくものなのでしょう。でも、若手職員たちが動物にまっすぐな情熱を注ぎ続け、そして「来園者に本当に伝えたいこと」をしっかりと認識していけば、たとえブームが去った後も、市民の皆さんに愛される良い動物園であり続けられる、と信じています。

みなさん、'10年夏のあさひやまにぜひお越しください!そして動物のすばらしさと共に、職員たちの情熱を感じてみてください。お待ちしております!

### 手づくりの大切さ

飼育係は自分の担当動物のために巣箱や休み場所、遊具などを作ってあげます。その動物が「高くて明るい場所が好き」なのか、あるいは「薄暗くて狭い場所が好き」なのか、など担当者だからこその生態があるからです。

そして、手作り設備を動物に気に入ってもらえた時が、なによりうれしいんです!ときには想定通りに行かないこともあります。「どこが悪かったのだろう?」「どう改善すれば動物に気に入ってもらえるだろう?」と、失敗の中に新たな発見があります。

手書き看板も、担当動物の事を誰よりも知っているはずの担当者が、自分で経験・観察したことを、自分の手で書くからこそ価値があるのです!



# あさひやま 解体新書

モユク編集委員・兼・飼育展示係の大西が、メディアで華やかに取り上げられるあさひやまとはひと味ちがう、現場の生の様子をお伝えしていきます!

萬千師匠新譯  
旭山 解体新書  
株式会社アドスエジンシー製本

## その③ あさひやま・もうひとつの車輪 —管理係—

旭山動物園の職員を大きく分けると「飼育展示係」と「管理係」に分けられる。飼育展示係は動物を飼育する仕事。管理係は動物飼育以外の、事務や来園者対応、広報などが主な仕事である。

管理係は仕事によってさらに細分化されているのだが、今回ご紹介するのは通称「マスタ組」とよばれる人たちだ。チーフの増田雄一さんと、大島一郎さん、田中翔太さんの3名で構成されている。

ではその「マスタ組」の任務は、どのようなものかというところ……

ペンギン館やほっきょくま館に来園者の行列ができる、その行列整理。もくもくタイムなどの時は特に混雑が起こるので、そばにはマスタ組や、委託警備員の人必ずづいてくれる。

時には来園者が園内で体調を崩し、倒れてしまうこともある。大混雑を割って園路を救急車が通る際、交通整理をするのもマスタ組の任務だ。

それ以外にも、「園内の道がわかりづらい」とか「駐車場への不満」など、来園者の細かな不満を聞き容れて改善する。冬季は来園者が歩きやすいよう除雪をしたり、滑り止めの砂をまく。園内の委託業者の人たちと、意思疎通をはかる。などなど……仕事を挙げていけばキリがない。

旭山の来園者が急激に増えはじめたころ、園内は混乱状態だった。例えばほっきょくま館では、動物が見えるガラスの前はカメラを持った大人の来園者が独占。子供や身体の不自由な方は動物がよく見えない。飼育係がガイドをしても聞いてもらえない状態ではなく、ガイド無しで、ただ屋上から魚を投げていた。しかし飼育係にとっては「これでは動物の生態や現状など、本当に来園者に伝えたいことが伝わらない!」という思いだったし、来園者の側も落ち着いて動物を見ることができず、不満が爆発していたことだろう。もともと田舎のちいさな動物園だ。年間何百万人もの来園者は想定されておらず、完全にキャパシティを超えていたのだ。

管理係の人たちはそんな状況を改善するために、ほっきょくま館に手作りのベンチを設置。来園者の行列を整理誘導して、もくもくタイムは最大3セットの入れ替え制とし、障害者・ちびっこの優先席も設けた。

これらの努力により、飼育係は解説しながらのもくもくタイムを行えるようになったし、来園者にも平等に動物を観察していただけるようになった。

今のホッキョクグマのもくもくタイム(略して「くまもく」)の形が出来るまでには、こうした経緯を経ているのである。

増田さんは言う。「昔はほんとにひどい状態だったんだわ。でも今はくまもくを見たお客さんが、こどもから大のおとなまで“うわ〜すごい!”って歓声をあげて、満足して帰っていく。それを見るだけで嬉しいんだよね。」「まずは飼育(係)が伝えたいこと、その方法を尊重したいのさ。そしてお客さんが見やすい、聞きやすい環境を整える。それがウチらの仕事だよ。」

飼育係より来園者の近くにいるからこそ、来園者の不満もわかる。飼育係と来園者との「通訳」の役割を果たしてくれているのが、管理係の人たちなのである。飼育係がいつも動物の事だけを考えていられるのは、こうした「縁の下の力持ち」の存在があればこそなのだ。

読者のみなさんには、こうした職員一人ひとりが旭山動物園を支えている、ということを知っていただきたいし、ほくら飼育係自身がそのことを忘れてはならない。

「いやいや大西ちゃん、ウチら管理(係)は顔出しちゃいけねえ仕事なんだわ。だからオレの名前は(モユクに)出さなくていいよ。」

ほくが取材を頼むと増田さんは、照れくさそうに言っていた。

飼育係と管理係は、車の両輪。どちらが欠けても動物園は前に進まない。



お手製のベンチ。  
ふだんは壁ぎわに積み重ねられている。



くまもく15分前。  
手作りベンチ設置!



くまもく5分前!もく開始時には  
着席してもらいます。

オレたちを取材?  
いやいや、それやべえわ!!



左上:増田雄一さん、右上:大島一郎さん  
下:田中翔太さん

## 出会いの春

モユクカムイをご覧の皆さまこんにちは。元・新人獣医の佐藤です。長いようであつという年の一年目が終わりました。今回のVet ニュースでは、これぞ生命の神秘、そう繁殖についてお話ししたいと思います。なぜかという、この原稿を書いている3月は動物園の出産シーズンがスタートする時期だからです。

動物の繁殖を大きく2つに分類すると1年中いつでも交配が可能な動物(周年繁殖といいますが)と一定の季節になると繁殖機能が活発になり交配を行う動物(季節繁殖動物といいますが)があります。今回のお話の中心になるのは季節繁殖動物についてなのですが、例としてウマ、ヒツジ、ヤギなどを挙げる事が出来ます。ほとんどの季節繁殖動物が春〜夏にかけて出産を行います。これは気候も温暖で、エサとなる植物が豊富にあるからだと考えられています。ちなみに気温の変化が少ない熱帯では季節繁殖動物は少ない傾向にあるようです。では動物たちはどうやって繁殖(交配)の季節が来たことを知るのでしょうか?

私たち人間も含めて動物の体の中には日照時間の長さを感じてそれを伝えるホルモンが存在します。このホルモンは「メラトニン」というもので、日が短くなるとメラトニンの分泌が増え、季節の変化を伝えるというはたらきをもっています。実はこのメラトニンは季節の変化だけではなく、朝と夜という一日のリズムを作っているホルモンでもあります。ここからがややこしいのですが、季節繁殖とは言ってもウマは日が長くなると(春になると)交配をするのに対してヤギやヒツジは日が短くなると(秋になると)交配を行います。でもどちらも出産するのは春なんです。これは妊娠している期間が違うからです。ウマの妊娠期間は約330日で、ヤギとヒツジは約150日なのでどちらも春に出産することになります。少し混乱をさせてしまったかもしれませんが動物の繁殖の神秘がわかっていただけたでしょうか。というわけで春を迎え、新しい仲間たちが続々と生まれている旭山動物園にぜひぜひ足を運んでもらえればと思います。

(獣医師・フクロウ・カバ担当:佐藤 伸高)

※VETニュースは獣医師の福井、中村、佐藤が毎号交代で書いています。



羊の「しし丸」。  
天使のような寝顔です。



フクロウの仲間も春〜夏に産卵、子育てを行います。写真は抱卵中のワシミミズクです。今年もベビーラッシュが期待されます。



獣医の仕事って  
どーなのかな?  
(福井さん)



## 主なできごと

### 《2010年》

- 2月26日 ヒツジ「かれん」出産  
3月2日 ヤギ「さくらこ」出産  
3月11日 ブラッザゲノン出産  
3月23日 ゴマフアザラシ「カムイ」出産、死産  
3月27日 ゴマフアザラシ「ヒカル」出産、人工哺育  
4月7日 ペンギンの散歩終了  
冬期開園終了  
4月9日 レッサーパンダ「凌凌」九州到津の森公園に搬出  
4月12日 ワシミミズクふ化  
北海道飼育技術者研究会 おたる水族館  
4月20日 シロテテナガザルとキョン同居開始  
4月24日 ホッキョクグマ「イワン」「サツキ」同居開始  
4月29日 夏期開園  
5月2日 「感じて!身近な自然を学ぶ会」【草花観察会】  
5月7日 ニホンザル出産、2個体  
エゾタヌキ出産  
5月9日 「感じて!身近な自然を学ぶ会」【野鳥観察会】  
5月15日 三度のめしより旭山「ととりの村編」(大越)  
5月18~19日 北海道飼育技術者研究会  
「旭山動物園ペンギん館の教育活動」(田中)



## 編集後記

はじまりました夏季開園!毎年4月の閉園期間に、各担当者が工夫を凝らして展示場を改善したり、手描き看板を描いたりしています。そんな努力の成果をぜひチェックしてみてください!今年のMVPは一体誰の手に!?

春に生まれた動物たちは、夏にかけて元気に成長していきます。とくに鳥のなかまは驚くべき早さで成長します。夏は動物たちも生命力に満ちあふれています!

モユクカムイも3カ月ペースが軌道に乗ってきました。次号の発行は9月予定です。(大西)

### モユク・カムイ No.77 平成22年6月24日

発行所 旭川市旭山動物園 〒070-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104  
発行 坂東 元 <http://www5.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahi/amzoo/>  
編集委員 中田 真一・島山 淳・大西 敏文  
佐賀 真一・白木 雪乃  
印刷 株式会社アドス・エージェンシー  
〒070-0042 旭川市中常盤町1丁目 ☎0166-22-2794

### 飼育動物数 (平成22年4月末現在)

哺乳類	45種	268点
鳥類	71種	452点
爬虫類	8種	21点
合計	124種	741点